

緩和ケア病棟で出来ること…

1) 短期入院で、苦痛症状のコントロールが可能です

痛みや食欲不振、全身倦怠感は誰にとっても苦痛なものです。これらの症状を数日～1週間程度の入院で緩和し、再び快適に過ごせる状態になってもらうことが可能です。その後は原則として外来通院となりますが、必要に応じて再び入院をすることも可能です。

2) 充実した看護ケアが可能となります

病棟は全て個室であり、快適に過ごせるように配慮がなされています。看護師も一般病棟より人数が多いため、より充実したケアが可能となります。また患者さんが希望されることは最大限に尊重し、でき得る限りそれが実現できるよう努めています。

3) 患者さんや家族の心のケアにも力を注いでいます

身体症状に対する対処はもちろんのこと、現在の病状や今後のこと、治療のこと、家族のこと、仕事のことなど、様々な不安や悩みに対する心のケアにも力を注いでいます。また患者さんのみならず、家族自身のケアも大切にしています。

4) アロマセラピー(芳香療法)やリフレクソロジー(足裏療法)も利用できます

アロマセラピーやリフレクソロジーといった療法は、患者さんやその家族にリラックス感や癒しをもたらしてくれます。そのため当病棟では、これらを積極的に取り入れ、ボランティアの方々にも定期的に来ていただいております。



だいたい

5) 代替医療による治療を受けることも可能です

手術や化学療法が困難になった患者さんでも、免疫力を高めるような治療、すなわち代替(だいたい)医療ならば身体にも負担がなく、治療を継続していくことが可能です。そのため緩和ケア病棟では、希望する患者さんには、これらの治療についてのご相談をお受けしております。



彦根市立病院緩和ケア病棟
黒丸尊治